

気仙沼出身3人参加

タイのアジア防災閣僚級会合フォーラムで意見開陳

タイのバンコクで開かれるアジア防災閣僚級会合(6月22日から26日まで)のフォーラムに、気仙沼市と南三陸町出身の大学生3人が出席する。自らの被災体験を元に、未来の防災について意見を述べる。

参加するのは、藤田真平さん(神奈川大学法学部)、西城国琳さん(拓殖大国際学部)、穀田龍一さん(東北学院大学法学部)。いずれも気仙沼市と南三陸町で

自宅などが被災。これまで、教育支援グローバル基金が展開する奨学生を対象にしたプログラムに参加し、防災教育に関する提言などを作成してきた。

3人は、22日にバンコク市内で、同じプログラムに参加している石巻市や福島県出身の大学生とともに、他国の若者と交流。各国の災害リスク管理への取り組みについて知識を深めるほか、24日に行われる「子供・若者フォーラム」に出席

し、各国の政府関係者と対話した上で、共同声明を発表する。アジア防災閣僚級会合は、来年3月に仙台でも開催される国連防災世界会議においてアジア、太平洋地域の意見として取り上げられる予定で、3人が出席するフォーラムの意見も盛り込まれる。